

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2019-201854 (P2019-201854A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-048
 【出願番号】特願 2018-98562 (P2018-98562)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 C
A 6 3 F	5/04	5 1 2 Z
A 6 3 F	5/04	5 1 2 D
A 6 3 F	5/04	5 1 2 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 27 日 (2021.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

枠体と、

前記枠体に対して開閉可能な扉体と、

解消するのに前記扉体を開放することを要する特定異常を報知する特定異常報知手段と

、

を備え、

前記扉体に設けられた鍵穴に鍵を挿入し、挿入した鍵を第 1 位置に回転させる第 1 操作と、挿入した鍵を第 2 位置に回転させる第 2 操作と、を行うことが可能であり、

前記第 1 操作は、前記枠体と前記扉体との係止を解除して前記扉体を開放可能な状態とする操作であり、

前記第 2 操作は、前記特定異常報知手段による報知を終了させる操作であり、

前記扉体が開放されているときに前記第 2 操作が規制され、

前記遊技機は、前記第 2 操作を検出する検出手段への接触を阻害する接触阻害手段をさらに備える、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

枠体と、

前記枠体に対して開閉可能な扉体と、

解消するのに前記扉体を開放することを要する特定異常を報知する特定異常報知手段と

、

を備え、

前記扉体に設けられた鍵穴に鍵を挿入し、挿入した鍵を第 1 位置に回転させる第 1 操作と、挿入した鍵を第 2 位置に回転させる第 2 操作と、を行うことが可能であり、

前記第 1 操作は、前記枠体と前記扉体との係止を解除して前記扉体を開放可能な状態とする操作であり、

前記第 2 操作は、前記特定異常報知手段による報知を終了させる操作であり、

前記扉体が開放されているときに前記第 2 操作が規制され、

前記遊技機は、前記第 2 操作を検出する検出手段への接触を阻害する接触阻害手段をさらに備える

ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機（例えば、スロットマシン 1）であって、

枠体（例えば、筐体 1 a）と、

前記枠体に対して開閉可能な扉体（例えば、前面扉 1 b）と、

解消するのに前記扉体を開放することを要する特定異常（例えば、ホッパーエラー、ホッパーエンプティエラー、セレクトエラー等）を報知する特定異常報知手段（例えば、エラーコードの表示、エラー画面の表示、エラー報知音の出力）と、

を備え、

前記扉体に設けられた鍵穴に鍵を挿入し、挿入した鍵を第 1 位置に回転させる第 1 操作と、挿入した鍵を第 2 位置に回転させる第 2 操作と、を行うことが可能であり（例えば、キー穴 2 0 2 に挿入した扉キー 2 0 1 を、扉キー 2 0 1 が縦向きとなる基準位置から第 1 位置まで第 1 方向（正面視右方向）に回転させる第 1 操作（右回転操作）が可能であるとともに、基準位置から第 2 位置まで第 2 方向（正面視左方向）に回転させる第 2 操作（左回転操作）が可能である。）、

前記第 1 操作は、前記枠体と前記扉体との係止を解除して前記扉体を開放可能な状態とする操作であり（例えば、第 1 操作を行うことにより、係止部 2 0 6 A, 2 0 6 B の被係止部 2 0 7 A, 2 0 7 B に対する係止状態が解除（解錠）され、前面扉 1 b が開放可能な状態となる。）、

前記第 2 操作は、前記特定異常報知手段による報知を終了させる操作であり（例えば、第 2 操作を行うことにより、被検出部 2 1 7 がリセットスイッチ 2 3 により検出され、エラー状態が解除され、これに伴う報知も終了する。）、

前記扉体が開放されているときに前記第 2 操作が規制され（例えば、前面扉 1 b が開放されているときは、第 1 位置まで回転させた扉キー 2 0 1 を第 2 方向（左方向）に向けて回転させる第 2 操作が規制部材 2 0 8 により規制される。）、

前記第 2 操作を検出する検出手段が接触困難となるように被覆部により被覆されている（例えば、リセットスイッチ 2 3 は、外部から接触困難となるように被覆部材 2 1 0 により被覆されている。）、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、扉体が開放されているときに特定異常報知手段による報知を終了させる第 2 操作が規制されるので、解消するのに扉体を開放することを要する特定異常が生じた場合に、特定異常を解消した後、扉体が閉じた状態となることで特定異常報知手段による報知を終了させることが可能であり、扉体が開いたまま特定異常報知手段による報知だけが終了してしまうことを防止できる。また、第 2 操作を検出する検出手段が接触困難となるように被覆部により被覆されているため、扉体を開放させた状態のまま鍵を用いずに特定異常報知手段による報知を終了させることを防止できる。

尚、手段 1 において枠体とは、底が塞がれないフレームのみの構造でも良いし、有底の箱状の構造でも良い。また、枠体は、内部に遊技機を構成する部品が設置されるものでも良いし、内部に部品が設置されず、単に遊技島等の設備に取り付けるためだけのものでも良い。

